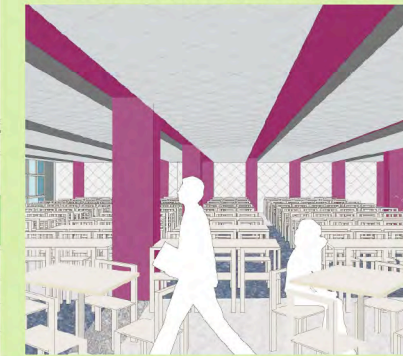


↑色とりどりのキッチンボックスが並ぶ新食堂



↑既存食堂は和紙を用いた落ち着いたインテリアとなる。(H22年3月オープン予定)

整備概要

1969年築の厚生会館の全面改修および増築により、アメニティ向上と混雑緩和を図る。

■面積

整備前：2,794㎡

整備後：3,362㎡

既存棟：2,364㎡

(改修：2,131㎡、増築：233㎡)

増築棟：998㎡

■席数

整備前：823席

整備後：1,078席※

既存棟：592席(カフェテリア：591席)

増築棟：410席(カフェ：68席、食堂：342席)

屋外席：76席

※上記の他に談話室74席あり

■工程計画

食堂の営業を休止せずに工事を行なうため、以下の工期に分けて計画した。

第1期-1

(H21.2月～5月)

- ・旧麺コーナーを購買へ改修

第1期-2

(H21.6月～7月)

- ・旧購買部分の解体
- ・時計・理髪・眼鏡店改修

第2期

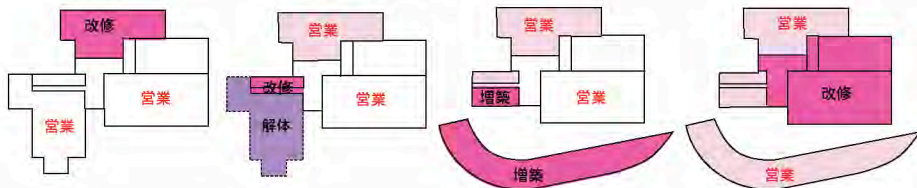
(H21.8月～11月)

- ・増築棟の建設

第3期

(H21.12月～H22.2月)

- ・既存食堂の改修



計画コンセプト

1 「大学の顔」をつくる配置

- 食堂の増築を行なうにあたり、既存食堂の採光・通風を確保するために、中庭を確保した南側への配置とした。これにより扇坂市道への顔がつけられる。
- 増築棟西側は、主アプローチである扇坂からプラザの入口まで、やわらかにカーブするファサードとし、来訪者を迎え入れる。
- このカーブする平面形状により、食堂内からは扇坂市道およびプラザへ続くパノラマ的な眺望が得られる。

2 屋外空間と既存樹木の活用

- 既存棟と増築棟の間にとられた中庭は日常的に学生の居場所となるとともに、昼食時には席数不足を解消するための屋外席を提供する。
- 増築棟建設地にあった樹木(ナツツバキ等)は伐採せずに、中庭等へ移植して活用を図っている。
- 増築棟入口周辺部分にあった3本のメタセコイヤを保存することで、中庭への印象的なアプローチ路をつくり出している。

3 選ぶ楽しさのある食堂

- 新食堂は、カフェ、ベーカリー、テイクアウト、麺、おばんざい等を提供する複数のキッチンボックスを並べた、飲食店街のような選択性のある楽しい空間となっている。
- 選択性のある複数のキッチンボックスを用意することで、利用者の列の分散が図られる。
- 食席についても、グループで座れるテーブル席や、一人で座れるカウンター席、ゆったりと座れるソファ席などを設け、利用者が選択できる構成となっている。

